

令和7年3月14日(2025年)

厚生労働省 様

ABCCが実施したとされる原子爆弾投下後の残留放射線等に関する記録調査報告書

1.趣旨・目的

資料調査目的：ABCC(原爆傷害調査委員会)が広島及び長崎において実施したとされる原子爆弾投下後の残留放射線と放射性降下物の研究結果(分布図を含む)について、その存在を示唆する資料が発見されており、また、令和6年5月30日に長崎県・市より、長崎周辺の地域で降雨があったことを示す可能性のある記録の調査を要望されていることから、これらの資料(BC-50,BC-51)の保有状況等の調査を行う。

2.業務の内容

- (1)ABCCが実施した広島及び長崎における残留放射線等の調査では、それぞれの地域で採取した土壌、樹皮、木材、漆喰、植生等のサンプルのラジオオートグラフを撮影し、降雨の場所をできるだけ正確に把握するため「降下物」地域の範囲を図示した地図を作成したとされており、The Texas Medical Center Library(米国テキサス医療センター図書館)における、これに関する資料の保有状況を調査し、リスト化をした上で厚生労働省に報告する。
- (2)インターネット公開サイトを利用し、米国テキサス医療センター図書館が所蔵する資料の中から調査を実施する。また、現地でしか確認できない所蔵文書もあるため、現地調査も行う。さらに、目的とする資料の存在を確認できた場合には、その写しを入手する。

3.調査期間 令和7年1月20日から令和7年3月28日まで

4.調査場所 米国テキサス医療センター図書館 (米国テキサス州ヒューストン市)
上記図書館のインターネットサイト、その他検索サイト

5.調査方法及び手順、状況報告

- 1) 米国テキサス医療センター図書館の所蔵から、インターネット検索にて検索調査。
- 2) また、米国テキサス医療センター図書館では、オンライン上では一般向けへのダウンロードサービスは行っていなかったため、現地調査を実施。

調査日時：2月12日

調査場所：米国テキサス医療センター図書館

MD Anderson Cancer Center 内 R4-1100
(1133 John Freeman Blvd. Houston)



- ・ Hiroshima, Nagasaki, Atomic Bomb, Radiation, Black Rain などといったキーワードにて、個別ならびに複数で検索。
 - ・ 現地に複数ある検索端末のうち係員用の 1 台のみ書籍のダウンロードが許可されており、今回その端末の利用を特別に許可いただいた。また、ダウンロードした書籍などの外部へのメール送信は原則不可だが、今回の事情を理解していただき、個人へのクラウドに保存することも許可された。そのことにより、電子化された読みやすいデータを取得できた。
- 3) 取得したデータを持ち帰り読み込み、再度検索の必要があるものを検索しまとめた。

【調査結果】

ABCC（原爆傷害調査委員会）が広島及び長崎において実施したとされる原子爆弾投下後の残留放射線と放射性降下物の研究結果（分布図を含む。BC-50, BC-51）

現地調査において、キーワード検索に該当した資料はあったが、それらを確認したところ、調査対象資料ではなかった。